

流通経済大学 vs 東洋大学

9月4日(水)
13:50K.O.
江戸陸

前半戦はなかなか本来の力を発揮できなかった流経大だが、リーグ戦終了後、ハードなトレーニングを行い、8月に行われた総理大臣杯では見事に優勝を果たした。何より粘り強さが出てきたのが大きい。総理大臣杯決勝は明大との対戦だったが、2点のリードをひっくり返したことでチーム全体に自信も戻ってきた。天皇杯茨城県予選では筑波大に敗戦を喫したが、このカードは伝統的に点の取り合いになりがち。リーグ戦で自分たちの戦い方ができれば、総理大臣杯で見た粘り強さを発揮するのは間違いがない。

また、総理大臣杯優勝でインカレ出場枠も手にしただけに、思いきりよくプレーができるのも強みだろう。一方で、まだまだ降格の危険性もある。後半戦、一気に上昇気流に乗れるかどうかは、この開幕戦の戦いぶりにかかっているといえるだろう。とにかく、流経大の戦いから目が離せない!

今シーズン1部に昇格した東洋大。創部初の1部での戦いとなり、前半戦は11位と順位的には苦しい戦いだったが、決して試合内容は悪くない。どのチームともほぼ互角の戦いを繰り広げているが、そこで勝ちきれないのが順位に現れている。まずはリーグで2番目に多い失

点の部分で修正し、いかにチャンスを生かすかがポイントになるだろう。

そのためにも攻守においてハードワークをして、ほかのチームとの違いを作り出していくことを目指している。守備を徹底しながら、いかに思いきりよく攻撃を仕掛けていくことができるか。前半戦の初戦は明大に1-0の勝利を収め、周囲をあっといわせた。この試合でも前半戦の再現といきたいところだ。

警告3回: 馬渡和彰、藤井悠太 (以上東洋大)
昨年のリーグ戦での対戦はなし

流経大				東洋大			
2. 湯澤	20. 江坂	14. 平石	7. 馬渡				
30. 桜井		9. 三田	12. 内田				
7. 中山		6. 石川					
1. 八巻	14. 西谷 18. 田上		1. 浅沼				
6. 富田		10. 桑田					
5. 川崎		8. 年森	5. 藤井				
28. 藤原	10. 椎名	11. 黒須	16. 筑井				

中央大学 vs 国士舘大学

9月4日(水)
13:50K.O.
荻野

春から安定した力を見せているものの、9試合で引き分けが3試合と勝負どころで勝ちきれない試合が多く、4位とやや出遅れた中大。

総理大臣杯の2回戦も延長戦を戦って2-2だったがやはり勝ちきれず、PK戦の末に敗退してしまった。後半戦、いかに引き分けを勝ちに持っていかれるかどうかだろう。

天皇杯東京都予選でも駒大に1-3で敗れてしまうなど、なかなか調子が上がりきらないが、8月には大阪遠征を実施して練習試合をこなし、たくましさをもってきた。

首位・専大との勝点差は7ポイントとやや離れているが、十分に逆転の可能性はある。そのためには集中力をもって戦いたい。

残留争いの渦中にあるのが、前半戦を最下位で折り返した国士大。残り13試合あるとはいえ、窮地に追い込まれている状況だ。

前半戦では順大に0-5の大敗を喫したものの、それ以外の6敗はすべて1点差での敗戦。それだけに悔しい気持ちもかなり強い。

前半戦の悔しい思いを胸に、恒例の夏の合宿で精神的

な成長を目指すとともに、もう一度、技術面の見直しを図った。反省点、課題を克服するために、かなり厳しいトレーニングを行っただけに、その成果を試合ですっかりと発揮したいところ。

総理大臣杯出場も逃し、リーグ戦後半戦に向けてすべてを注いできただけに、チームが一丸となっている。

最下位とはいえ、10位・順大との勝点差はわずかに3。逆襲のチャンスは十分にある。

出場停止: 久保田晃次(国士大) 警告3回: 細見諒(中大)
昨年の対戦: 前期/中大3-2国士大、後期/中大1-2国士大

中大				国士大			
6. 高瀬	10. 澤田	9. 坂谷	2. 石川				
5. 木村		16. 平松	4. 今瀬				
8. 田辺		20. 松本					
1. シュミット 4. 細見	19. 皆川		1. 小澤				
25. 渋谷		7. 橋本					
3. 大和田		10. 新村	3. 吉田				
2. 古賀	11. 川越	14. 進藤	6. 嶺岸				

*今回の布陣は、各チームが提出し、パンフレットに掲載したものを転載

JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.10 Division1



編集: 加茂郁実 発行: 関東大学サッカー連盟 協力: 関東大学サッカーサポーターズクラブ

後半戦がスタート!

9月4日、「JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦」の後半戦がスタートする。9節を消化した前半戦の首位は、2連覇中の専大。勝点2ポイント差で早大が追っている。3位の日体大は首位から7ポイント差があるだけに、優勝争いは専大と早大を軸に繰り広げられそうだが、夏場を経て大きくチーム状況が変わっていることも予想される。残り13試合、まだまだ何が起るかわからないといえるだろう。

まずは専大だが、天皇杯の神奈川県予選では5位の桐蔭大に敗れた。悔しさを晴らすためにも、リーグ戦に向けて全力で調整してくるものと思われる。2位の早大は堅実なサッカーで勝点を積み重ねてきた。インカレは2回戦で敗れてしまったものの、地力は十分にある。

3位の日体大はインカレ不出場。前半戦が終わってから、しっかりとリーグ後半戦に向けて準備してきた。天皇杯東京都予選は決勝で横浜武蔵野FCに0-2で敗れたが、優勝争いに絡む力は十分にある。

4位の中大は、総理大臣杯2回戦で中大にPK戦の末に敗れた。天皇杯東京都予選でも駒大に敗れ、少し調子を落としているのが心配される。

今年、1部に昇格した桐蔭大。好位置につけているだけでなく、前述のとおり天皇杯の神奈川県予選では専大を破っている。後半戦も台風の目になるだろう。

注目は6位の明大か。過去の成績を見ても後半戦に強いのは間違いない。8月の総理大臣杯は決勝で流経大に敗れたものの、ここからの巻き返しは十分にある。

そして、7位の流経大は総理大臣杯の覇者。早々にインカレの出場権も得ただけに、総理大臣杯同様に粘り強い戦いがかれば、上位争いに絡んでくるはずだ。

得点ランキング

長澤 和輝 (専大)	8点
仲川 輝人 (専大)	7点
坪井 秀斗 (桐蔭大)	5点
武藤 嘉紀 (慶大)	5点

アシストランキング

稲葉 圭吾 (専大)	3アシスト
北爪 健吾 (専大)	3アシスト
長澤 和輝 (専大)	3アシスト
仲川 輝人 (専大)	3アシスト

前半戦、なかなか本来の力を発揮できなかった慶大。しかし、リーグ戦後のアミノバイタルカップで2位になるなど、少しずつチームとして成長。後半戦は違った姿を見せてくれるはずだ。前半戦は9位と振るわなかった筑波大。個々のタレントはそろっているが、今年は攻撃力がやや落ちているのが気がかりだ。ただ、天皇杯茨城県予選は流経大に5-1の勝利。1回戦も浦安SCに4-1と攻撃力が戻ってきただけに、後半戦、一気に調子上げる可能性もある。

同じく9位の順大。開幕直後は調子がよかったが、前半戦の終盤はややトーンダウン。攻撃面が未完成だ。11位の東洋大は1部初挑戦で苦しんでいる。内容は互角も勝ち負けの試合が多く、粘り強い戦いができるかどうか。最下位の国士大だが、こちらも決して悪い試合ばかりではない。ただ、淡泊な試合が多いだけに、本来のハードワークを取り戻したいところ。

いよいよスタートした後半戦。最後に笑うのは?

JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	早大	日体大	中大	桐蔭大	明大	流経大	慶大	筑波大	順大	東洋大	国士大	勝点	得失点差	得失点	得失点	得失点	得失点	得失点
1	専大	9月4日	1△1	5○2	6○2	9月11日	2●3	6○1	2○1	2○1	3○1	2○1	7	1	29	13	16	22		
2	早大	味フイ西	1△1	9月11日	1△1	2○1	3○0	2○1	1○0	0●1	1○0	2○1	6	2	13	6	7	20		
3	日体大	1△1	1△1	1○0	0●1	9月4日	2○0	1●2	9月11日	1△1	3○1	1○0	4	3	11	7	4	15		
4	中大	2●5	味フイ西	0●1	1△1	3○1	0△0	1○0	2○0	2○0	1△1	9月4日	4	3	12	9	3	15		
5	桐蔭大	2●6	1△1	1○0	1△1	2●3	3○1	2○1	0●1	9月4日	9月11日	1○0	4	2	13	14	-1	14		
6	明大	味フイ西	1●2	味フイ西	1●3	3○2	0△0	2△2	0△0	4○1	0●1	2○1	3	3	13	12	1	12		
7	流経大	3○2	0●3	0●2	0△0	1●3	0△0	3○1	1△1	0△0	9月4日	9月11日	2	4	8	12	-4	10		
8	慶大	1●6	1●2	2○1	0●1	1●2	2△2	1●3	未定	9月11日	2○1	3○2	3	1	13	20	-7	10		
9	筑波大	1●2	0●1	保土ヶ谷	0●2	1○0	0△0	1△1	未定	3○1	5△5	1●2	2	3	12	14	-2	9		
10	順大	1●2	1○0	1△1	0●2	BMW	1●4	0△0	江戸陸	1●3	2△2	5○0	2	3	12	14	-2	9		
11	東洋大	1●3	0●1	1●3	1△1	三ツ沢	1○0	江戸陸	1●2	5△5	2△2	1●2	1	3	13	19	-6	6		
12	国士大	1●2	1●2	0●1	荻野	0●1	1●2	江戸陸	2●3	2○1	0●5	2○1	2	0	7	18	-9	6		

体育会学生のための



あなたの就活を、専任アドバイザーがマンツーマンでサポート。 <http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/>



日本体育大学 vs 明治大学

9月4日(水)
11:30K.O.
味フィ西

前半戦を3位で終えた日体大。首位・専大との勝点差は7ポイントとやや開いているが、まだ逆転は可能だ。

日体大の特徴は何といっても守備力。前半戦9試合で7失点と、早大に次いで少ない数字だ。ただ、前半戦の終盤はなかなかゴールが奪えず、勝ちきれなかったことから専大との勝点差が開いてしまった。

まずはインカレ出場圏内の5位以内をキープしながら、優勝争いに絡みたいところ。クリエイティブでアグレッシブな攻撃サッカーをモットーに、勝ちきれぬサッカー、見ている人に感動を与えるようなサッカーの体現を目指していく。

総理大臣杯には出場できなかったが、そのぶん、しっかりとリーグ戦に照準を合わせている。天皇杯東京都予選では決勝戦で横河武蔵野FCに0-2で敗れたものの、そこまでは安定した力で勝ち上がってきただけに、自信をもって戦いたい。

対する明大は前半戦6位で、首位・専大との差は10ポイント。後半戦に強い明大とはいえ、優勝を狙うには負けられない戦いが続く。

8月に行われた総理大臣杯は準優勝。決勝の流経大戦は2点をリードしながら逆転負けを喫した。続く天皇杯

東京都予選でも、東京ヴェルディユースに敗れるなど課題も見えた。

しかし、この敗戦から多くを学んだ選手たちが一回り成長を果たしている。そして、ここからリーグ戦の逆転優勝を目指すには、さらなるプレーの質の向上と運動量の増加が絶対不可欠だと考えて、ここまで厳しいトレーニングを積んできた。スピーディーかつ豊富な運動量、そして冷静なサッカーを見せてくれるはずだ。

出場停止：高橋諒(明大) 警告3回：宮内圭汰(日体大)
昨年の対戦：前期/日体大3-3明大、後期/日体大0-1明大

日体大			明大		
2. 宮内	15. 阿部		7. 梅内	5. 小川	
3. 広瀬				3. 山越	
	6. 石井			6. 水野	
1. 畠中	9. 田中	11. 北脇	11. 野間	8. 和泉	1. 三浦
	10. 稲垣			16. 差波	
4. 菊地				4. 小出	
5. 中西	7. 梅村		10. 矢田	2. 八塚	

慶應義塾大学 vs 筑波大学

延期
(日程・会場・未定)

前半戦はなかなか勝ちきれず8位に終わり、苦しい戦いの連続だった慶大。ただ、徐々に調子を上げてきたのは確かで、実際、アミノバイタルカップでは準優勝し、総理大臣杯にも出場した。

その総理大臣杯は2回戦で関学大に2-3で敗れてしまったが、リーグ戦終盤からの成長からいって後半戦は楽しみな1チーム。前半戦の苦戦からチームは一つひとつ課題を克服し、夏場にはさらなる修正を加え、戦術的完成度は高まっている。

後半戦に向けては守備の修正が第一のポイント。前半戦は9試合で20失点とリーグ最多失点だった。試合内容はほぼ互角で戦っているだけに、なんとももったいない失点から勝点を落としてきただけに、そこをいかに解消していくかが大事になってくる。

一方の筑波大は現在9位。残留争いの渦中にあるが、慶大との勝点差はわずかに1ポイント。勝てば順位で逆転するだけに大事な一戦だ。

総理大臣杯出場を逃した筑波大だが、天皇杯の茨城県予選決勝では流経大を5-1で下した。前半戦は4ゴールとあまり元気がなかったエース赤崎秀平だったが、流経大戦では3得点と活躍。後半戦に向けてエンジンがか

かってただけに注目だ。

もともと力のあるチーム。ただ、前半戦は試合の主導権を握りながらもゴールを決めきれず、逆にカウンターから失点してしまうパターンが多かっただけに、その点はしっかりと修正したい。流経大の5ゴールを見てもわかるように、はまれれば爆発的な攻撃力を持っている。

なお、筑波大が天皇杯2回戦に進出したため、この試合の延期が決定。日程・会場は未定。

警告3回：谷口彰悟(筑波大)、松下純土、溝淵雄志(以上慶大)
前期の対戦：前期/慶大2-0筑波大、後期/慶大1-8筑波大

慶大			筑波大		
19. 溝淵	10. 武藤		13. 曾山	6. 片岡	
4. 保田				17. 西村	
	5. 増田			3. 谷口	
1. 峯	16. 加瀬澤	20. 端山	9. 赤崎	8. 玉城	1. 神倉
	8. 松下			7. 葺本	
13. 望月				5. 車屋	
3. 飯高	24. 山田		10. 上村	12. 三丸	

専修大学 vs 早稲田大学

9月4日(水)
13:50K.O.
味フィ西

2連覇中の専大。今年も前半戦を首位で折り返し、2位の早大には2ポイント、3位の日体大には7ポイントの差をつけ、その強さを見せつけた。

ただ、決して楽観視はできない。総理大臣杯には予選で敗退して出場できず、8月に行われた天皇杯の神奈川県予選では決勝で桐蔭大に2-3の敗戦を喫してしまい、天皇杯出場を逃した。

やはり、最大の課題は守備面だ。攻撃は9試合で29得点。ゴール数2位のチームは13得点だけに、その破壊力はすさまじいといえる。しかし、失点13は首位のチームのわりに多いし、一つひとつの試合を見ても決定的な場面を作られることが昨年に比べれば多い。

前半戦同様に守備の部分は我慢が続きそうだが、一方で我慢の攻撃力を発揮できれば3連覇に近づくといえるだろう。まずは守備が安定している早大を打ち崩すことができるか。

前半戦を2位で折り返した早大。直接対決となるこのゲームで勝てば首位に立つことができるだけに、いきなりポイントとなる試合だ。

リーグ最少失点6の守備陣は常に安定している。総理大臣杯2回戦では中京大にPK戦の末に敗れたが、スコ

アは0-0だっただけに、この強力なディフェンスをベースに戦っていくのは間違いない。

ただ、8月26日にジェフ千葉と練習試合を行ったが0-3の敗戦を喫し、攻守の切り替えのところで精彩を欠いたのは気がかりだ。持ち前のしっかりとした守備からスピードのある攻撃を、この試合で表現できるかどうかがかぎを握る。

18年ぶりの優勝を目指し、後半戦最初のゲームを全力で制したいところだ。

前期の対戦：前期/専大1-1早大、後期/専大3-2早大

専大		早大	
5. 山崎	11. 前澤	7. 近藤貴	12. 八角
6. 河津		9. 上形	3. 金沢
	8. 下田		4. 中田
1. 福島	7. 長澤	9. 稲葉	1. 松澤
	14. 星野		5. 池西
3. 萩間		10. 榎本	2. 奥山
2. 北爪	10. 仲川	8. 近藤洋	6. 三竿

桐蔭横浜大学 vs 順天堂大学

9月4日(水)
13:50K.O.
BMWス

今シーズン1部に昇格したばかりの桐蔭大。開幕から5試合未勝利(2分3敗)と苦しい戦いが続いていたが、そこから怒涛の4連勝で順位を5位まで上げて前半戦を終了した。試合を重ねるごとに大きく成長していった印象だ。

天皇杯神奈川県予選の決勝では、専大を3-2で破って天皇杯出場権を手に入れた。

「決して予定どおりの夏場のスケジュールではなく、思うように事は運ばなかったけれど、勝つことが一番だった」(八城修監督)

専大戦では押される場面も多かったが、そこでしっかりと耐え、3点を奪って勝利を収めただけに、そこで得た自信は後半戦に向けて大きい。何より、得点力がアップしたのは明るい材料だ。

前半戦に比べて、たくましさを増した桐蔭大は、後半戦も台風の目になる可能性が大いにありといえるだろう。

対する順大は現在10位と、残留争いに巻き込まれている。1試合1試合を見ると決して悪い試合ばかりではないのだが、そこで勝ちきれないのが今年の順大。天皇杯千葉県予選の準決勝でも、VONDS市原に1-2の

敗戦を喫してしまった。シュート数も4本と少なく、前半戦の課題は克服しきれていない様子だ。

いい流れでゲームが進行しているときは自信を持った戦いぶりだが、一度リズムを失うとなかなか立て直せないクセを、後半戦、いかに修正していくかが大事。

前半戦の序盤に見せたように粘り強く戦い、しっかりと勝点を積み重ねていきたい。インカレ出場の可能性も十分にあるだけに、まずは後半戦初戦でしっかりと波に乗りたいところだ。

昨年のリーグ戦での対戦はなし

桐蔭大		順大	
2. 井上	11. 山根	11. 原田	16. 吉永
4. 古澤			3. 清水
	9. 大泉		6. 岡崎
1. 島崎	14. 上野	10. 坪井	10. 井村
	7. 平山		14. 長谷川竜
6. 福島			22. 長谷川涼
3. 香西	8. 山崎	9. 岡庭	12. 友澤